



うたづ 議会だより

2017
第63号
5.1
香川県宇多津町



中央保育所入所式

「今日から一緒に遊ぼうね。」と年長さんが歌やダンスで歓迎しました。

今年度の目玉施策

応援しようでえ〜！
うたづっ子「オッ☆ペンキッズ」

元気ななかま「食生活改善推進協議会」

みなさんの声「交通安全指導員さん」

2

23

24

24

元気創造 これからも自立する町うたづ 「町民ファーストのまちづくり」

育児用品 レンタルサポート

子育て世帯の経済的支援と子どもの出生率アップのため、チャイルドシート、ジュニアシート、ベビーカーなどの育児用品を社会福祉協議会で1年間無料で貸し出します。（更新可能）

新生児の聴覚検査

乳児検診で「聴覚スクリーニング検査」を実施します。新生児の聴覚異常は早期に発見できれば、療育によりその影響を最小限に抑えることが期待できます。

幼稚園の改修

宇多津幼稚園の子ども用トイレを改修します。新たに預かり保育をするために、流し台を設置します。

空き家の改修や 除去に補助金

改修は空き家バンクに登録されている物件で住宅用と起業用の補助金があります。除去は災害時に危険性がある住宅に対して国の基準で判断をする補助金があります。

公園などに 健康遊具の設置

新都市の遊歩道などではウォーキングをする人も多いので、軽いストレッチやトレーニングができるような健康遊具を設置します。

中学校の外壁補修 (補正予算)

宇多津中学校の外壁がはく離しており一部中庭に落下していて危険なので早急に補修します。

古街エリアの道路整備

社会資本総合整備事業（旧まちづくり交付金事業）により、引き続き旧町内の道路整備事業を行います。今年度は浜町、伊勢町、田町などの道路整備です。

平成29年
第1回定例会

災害に強く 子育てしやすい町

本会議 議員の賛否



大松 喜次郎 議長

○ 賛成 × 反対 欠 欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主 な 審 議 案 件		港	大黒	井上	西本	濱中	柴村	宮本	大松	青木	藍川
議	平成28年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度はなの森墓地公苑整備事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成29年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成29年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成29年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
案	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成29年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成29年度はなの森墓地公苑整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成29年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	個人番号の利用と個人情報の提供に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	職員の勤務時間・休暇などに関する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	職員の育児休業などに関する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	農業委員会 委員候補者選考委員会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
同意	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	香川縣市町総合事務組合の財産処分	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	香川県中部広域競艇事務組合規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	固定資産評価審査委員会 委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
発議	宇多津町議会基本条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

火災など災害時の消防資機材強化のため、平成6年度に購入した第2分団の消防ポンプ自動車を耐用年数がきたため買い替える。

消防ポンプ車購入事業

（2100万円）



防災訓練での非常食の試食

災害時に備え、緊急物資備蓄マニュアルに基づき、広域避難所への食料や飲料水などの備蓄物資を整備する。平成27年度から計画的に備蓄し、29年度で整備が完了する。

災害に備える物資の購入事業

（410万円）

平成29年第1回定例会を3月7日から17日までの11日間開催し、議案23件、同意1件、発議1件を審議しました。議案は委員会付託し慎重に審議した結果、本会議では原案をすべて可決および同意しました。
また、一般質問は3月8日と9日に行い、熱い議論を交わしました。今回の定例会も庁舎耐震改修工事のため、保健センター4階などを使用しました。

子ども食堂事業

（36万円）



異世代交流を目的にした子ども食堂

月1回程度、町内の施設「陽だまり」を利用して食事提供を行う。事業は社会福祉協議会に委託し、子どもは1回100円、大人は400円くらいを考えている。今回の事業では「ひとり親家庭」などの自立をサポートすることを目的としている。子どもの居場所提供はしないが、おもに親の就労相談や子どもの学習支援などを行う。

創業支援事業

（110万円）

平成28年度に「創業支援計画」を策定。町と商工会や金融機関などの連携窓口を新たに設置する。創業希望者や创业者の相談などの支援体制を整備し創業実現を図るとともに、一定の要件を満たした新規创业者の創業経費に對し補助をする。

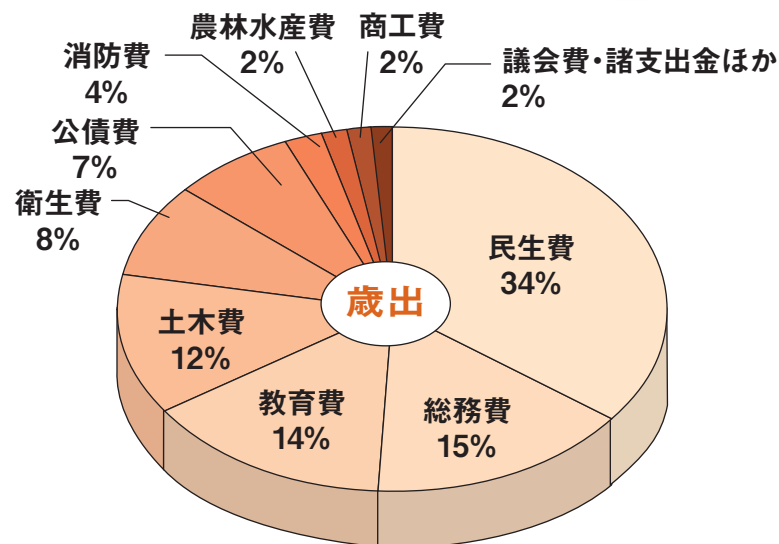


保健センター4階 仮議場で本会議を行った

「稼げる自治体」を目指し

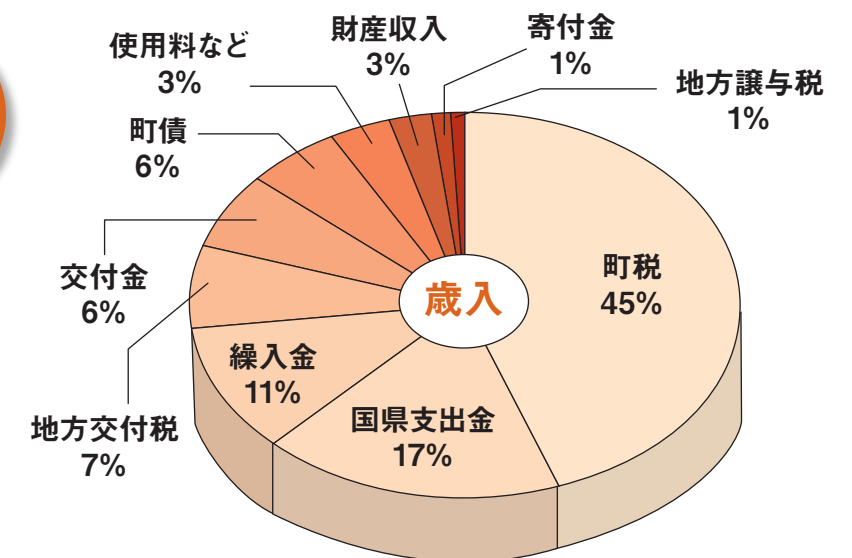
教育や観光振興を増額

歳出



平成29年度
一般会計予算
62億6800万円

歳入



民生費	21億4500万円	高齢者医療や介護、障がい者などの福祉、子ども医療費や児童福祉に関するもの
総務費	9億4100万円	
教育費	9億1800万円	小学校入学時の制服代補助、中学校の大型モニター設置、デュアルスポーツセンター西駐車場用地の購入
土木費	7億2600万円	
衛生費	5億 800万円	
公債費	4億3200万円	地方債の償還や利子の支払い＝借金の返済
消防費	2億2100万円	
農林水産費	1億3900万円	北浦漁港物揚げ場の改修、青の山山頂トイレ改修
商工費	1億2200万円	
議会費・諸支出金ほか	1億1600万円	「歩天」「アロハナイト」などのイベント

町税	28億 100万円	固定資産税・住民税・法人税
国県支出金	11億 300万円	事業や目的に応じて、国や県から配分される
繰入金	6億8000万円	
交付金	4億4000万円	
地方交付税	4億 600万円	
町債	3億5100万円	町債＝借り入れ（借金）
使用料など	2億1100万円	
財産収入	1億7300万円	JAの賃料、土地の貸付収入
寄付金	6000万円	ふるさと納税
地方譲与税	4300万円	

今年の予算を家計簿にしてみました

収入 31万3千円			支出 31万3千円		
項目	説明	金額	項目	説明	金額
夫の給料	町税・法人税	140,000円	食費	職員の給料	52,000円
妻のパート代	使用料	10,000円	医療費・保育料	高齢者・子どもの医療費	66,000円
親からの仕送り	地方交付税	44,000円	備品購入	耐震改修関連	70,000円
親への借金	国県支出金	55,000円	ローン返済	公債費	22,000円
預金の切り崩し	繰入金	34,000円	修理代	維持管理費	7,000円
ローン	町債	18,000円	光熱水費	補助費	35,000円
預金利子・運用	財産収入	12,000円	家賃	普通建設費	30,000円
			子どもへの仕送り	特別会計繰り出し金	31,000円

※これはあくまで参考例です。

歳入では、町税・国県支出金は前年度並みですが、交付金や地方交付税は減収の見込みです。その一方で、昨年度から力を入れている「ふるさと納税」や役場西館のJA賃料、「古街の家」使用料などの増収により「稼げる自治体」を目指しています。

歳出では、庁舎耐震改修工事関連の総務費が減額しています。民生費は子ども医療費や障がい者・高齢者の医療費のほかに「まんでがん体操」や視覚障がい者のためのホームページ読み上げ事業など、福祉の充実には欠かせない予算です。教育費では教育施設の環境整備として中学校や幼稚園の施設整備をするほか、デュアルスポーツセンター西駐車場用地を土地開発公社から購入します。また、商工費では「歩天うたづ」「アロハナイト」「うたづ夏祭り」「秋の大収穫祭」「うたづの町家とおひなさん」などのイベント予算を計上しています。

ふるさと納税が激増

総務建設常任委員会

県外からの移住

Q 新婚世帯住宅補助事業に、県外からの移住に対して上乘せするが、何世帯あったのか。

A 新婚世帯家賃補助事業の対象世帯のうち、県外からの移住は3世帯だった。

まちづくり課

ふるさと納税

Q 今年度は補正を組むほど増えたということだが、その要因は。

A 納税額を増やすために専門のサイトと契約し、返礼品などのラインナップを増やした。昨年度58万円だったものが、今年度は12月現在で6000万円を超えている。最終的には7000万円ほどになると見込んでおり、返礼品のための補正予算を組んだ。

総務課

「古街の家」の収支

Q 古街の家の収支はどうか。

A 1月時点の売り上げは650万円あり、前年度の利用を考慮すると、年度末には730万円くらいの売り上げが見込まれる。委託料500万円、寝具のレンタル料などで支出が700万円ほどになるので、収支はプラスになると思われる。



古街の家

まちづくり課

資源ごみ収集場所にカメラ

Q 資源ごみの収集場所に防犯カメラを設置したと聞か、効果は。

A 犯罪率の高いところや自治会からの要望を受けて防犯カメラを設置したところ、効果がでている。ただし、賛否両論があるので今後検討する。

住民生活課

「こめっせ」の管理

Q 「こめっせ」は利用者が掃除することになっているが、しない団体もあり、トイレなどはかなり汚れているが。

A 職員も掃除をしているが、汚れが目立ってきているため、美装することも検討したい。

まちづくり課

アートアワード

Q 平成28年度は実施しないようだが、隔年開催になったのか。

A 29年度は公募と審査を行い、30年度に展覧会を開催する予定。
ビエンナーレ（2年毎）や瀬戸芸のようなトリエンナーレ（3年毎）にするのか関係者と協議していく。

まちづくり課

町政を問う

(一般質問の件名)

青木 義勝	・避難所運営マニュアルの策定は ・子育て支援に「うたづ版ネウボラ」を
藍川佳津樹	・街並み景観と空き家対策 ・「うたづアートアワード」の今後
港 一紫	・プレミアムフライデーの実施を ・野良犬えさやり撲滅ゾーン設置は ・鴨田川改修工事の進展は
大黒 一也	・災害備蓄品の管理分散化 ・医療費控除の特例は
井上 弘治	・校務支援員の継続は ・細川・松平家が取り組んだ漁業奨励 ・政府と本町の予算編成
西本 祐子	・ワンストップサービスの導入を ・新婚世帯家賃補助制度、その後は ・国保名義で性同一性障害への配慮を
柴村 賢三	・大災害時の福祉避難所の対応策は
宮本 隆	・人口増加の南部地域に公園新設を

放課後クラブの時間

Q 以前、放課後児童育成クラブの夏休みの開始時間についての一般質問で、早く来た子どもが担当のシルバーさんと一緒に外で待たされているということがあったが。

A その後実態調査をし、開始時間を30分早め、室内に入れるようにした。



次々と子どもたちが帰ってくるキッズプラザ

生涯学習課

平成相聞歌 10周年の計画

教育民生常任委員会

平成相聞歌10周年

Q 平成28年度は事業がスタートして10年目ということで幼児や小学生から俳句の募集をしたが、10周年の来年度はどうするのか。

A 来年度も幼児と小学生から俳句を募集するほか、中学生からも募集する。また、記念誌の発行を考えている。



第10回 子どもの優秀作品の表彰式

生涯学習課

要介護1が増えている

Q 要支援1、2および要介護1の人数が増えているのはなぜか。

A 高齢化にともない、要介護認定者数は増えているが、要介護2～5は横ばいである。これらのことから、要介護1で留まっている人が多いと考えられる。介護予防体操教室やまんでがん体操の成果が表れてきたのではないと思われる。今後も注視していきたい。

保健福祉課



青木 義勝 議員

避難所運営マニュアルの策定は

現在、マニュアルの策定に取り組んでいる／危機管理課長

問 南海トラフによる大地震が近い将来必ず起こるといわれている。昨年も、全国で地震や台風など多くの自然災害が発生、家屋の倒壊やインフラの破壊により多くの人々が避難所生活を余儀なくされている。国も過去の教訓をもとに災害対策基本法が改正され、避難所運営についても平成28年には避難所の良好な避難所運営を実施するため、開設から運営の組織づくり、設営の訓練や避難所支援班などについてどのように考えておられるのか。また、被災者支援システムの導入の考えや、避難所のマンホールトイレ設置のその後の経過説明など本町のお考えをうかがいたい。

木下危機管理課長

現在、

谷川町長

避難者の健康面

宇多津町では開設・運営の基本事項を定めた避難所運営マニュアルの策定に取り組んでいるところであり、避難所においては避難者の自主運営が基本だと考えている。また、中心となるのは自治会や自主防災組織の会長などを考えているので、運営に関する研修などにも取り組みたい。

業務継続計画の中で被災者支援システム導入も引き続き調査したい。

や衛生面からも、安心して快適に使用できるトイレ環境を整えることで、健康確保に寄与する。以上のことからマンホールトイレの普及を推進し被災時においても快適な生活環境確保の必要性を確認した。

松本水道課長

平成27年に

ご提案をいただいたマンホールトイレは国の補助を受け広域避難所につながる汚水管の耐震化計画を立て、今年から5年かけ耐震化工事を実施し、平成33年度に設置する計画で進めている。



藍川 佳津樹 議員

街並み景観と空き家対策

花壇育成などの固定資産に対する税の減免は難しい／税務課長

問 町内に空き家が増え、街並みが崩れつつある。空き家は町内あまねくあるが歴史を醸しだす旧こんびら街道にまざる着目すべき。町は景観条例の規制で、住民には景観保持に協力を要請しながら、行政は景観崩壊に対して何の手立ても打たないのでは、条例の本来の趣旨にもとる。国策の税制以上にわが町では景観醸成という高度な施策が必要ではないか。

笠井税務課長 空き家増加や景観の保全対策は重要な課題ながら、税の減免は公平性の観点から「例外的に不公平な扱いを正当化する」ことに留意し、厳正な判断を必用とする。町税条例でも「貧困世帯で公私の扶助を受ける者の所有する固定資産」などに限定されていることから、土地所有者自らが行う花壇育成など景観配慮に対する税の減免は難しい。

再質問 町長の施政方針にも「古い歴史・文化の香り高く風情漂う街並みの特性を活かす」とあるが、景観条例の趣旨はまさにここにある。規制をかける以上、行政の責務としての手を打つべき。例えば「古街の家」にならった街並み美術館構想、文化財保存など発展的に展開する素地は十分にある。

谷川町長 かつて展開していた「花いっぱい運動」に

は、限られた一部の地域での実施について町民からご意見をいただき取りやめた。花壇の設置などの助成を考えると、住民の理解も必要になってくる。ご提案のあった「今昔ロマン街道」というような一つの趣旨として検討することも考えられる。文化財の保護施設については、教育委員会・文化財保護協会の皆さんのご意見をお聞きする。また、街並み保存などについては、まちづくりファンドをご活用いただきたい。

「うたづアートアワード」の今後

関係者の意見を聞き、より良い事業にしていく／まちづくり課長

問 「うたづアートアワード事業」の募集、審査などの日程が聞えて来ないが、何らかの方向転換がなされたのか。

私は、常々「身の丈行政」を標榜しており、内心では

2年もしくは瀬戸芸に合わせ3年毎にした上で成果を検証し、さらに内心では事業実施能力を持つ事業者にお任せするべきではないかと思っている。今後の方向性をうかがう。

浅野まちづくり課長 本事業は「町民の、芸術・文化に親しみ集う場の提供」を目的としている。専門家の評価は高いものの、アンケートでは厳しい意見が、また応募者からは制作期間が

厳しいとの意見もあり、隔年や三年毎といったことも一考かと考える。今後この目的達成のために、関係者の意見を伺いながら、より良い事業にしていきたい。



港 一紫 議員

プレミアムフライデーの実施を

職員と話し合いながら推し進める／総務課長

問 平成29年2月24日から

経済産業省よりプレミアムフライデーがスタートした。これは毎月月末の金曜日の午後3時の退社・退庁を推進するもので、町として実施していくものなのか。総合的にプレミアムフライデーをどのように考えているのか。

山下総務課長

宇多津町に

においても時間外勤務の縮減および年次有給休暇の計画的使用の促進についてなどの総務省通知を踏まえ、町民の皆様や関係機関などに対するサービス低下につながらないことを前提として、年次休暇の取得により早期退庁も可能であることを文

章にて周知している。国の方向性には賛同するが、まわりの環境に許される範囲で職員とも話し合いながら推し進めたい。



プレミアムフライデーのロゴマーク

野良犬えさやり撲滅ゾーン設置は

実効性のある野良犬対策に努める／住民生活課長

問 「野良犬えさやり撲滅ゾーン」は、野良犬の減少、地域の安全対策として設定される。宇多津町では現在、特に鍋谷、十楽寺地区から田町地区の青の山ふもとが

「野良犬えさやり撲滅ゾーン」に設置されている。その成果と現在の状況は。

中村住民生活課長

十楽寺、

鍋谷地区には複数頭の野犬

があり、子どもたちへの安全確保の観点や、朝夕の遠吠えの苦情などが寄せられている。未だに特定できていない『えさやり』が当該地区に集中している。住民の皆様方の協力を得ながら実効性のある野良犬対策に努めていきたい。



大黒 一也 議員

災害備蓄品の管理分散化

備蓄品は指定避難所3施設に配置する／危機管理課長

問 自然により災害の発生

の可能性が生じた時、避難勧告や指示が発令されなくても指定避難所に自主的に集まって来る。すぐに開けに来ることが出来ない場合、鍵を隣接する町内会や自主防災会に預けることができないのか。また、食料飲料水、生活必需品などを各指定避難所にある程度の量を保管しておくことはできないか。

木下危機管理課長 夜間・

休日に指定避難所施設を管理する者がいない宇多津小、北小、中学校において近隣自治会などの方に鍵の保管をお願いしたいと考えている。備蓄分散化は教育委員会と協議を行い、各指定避難所3施設に配置することを進めている。

再質問 指定避難所に避難行動要支援者の代替的整備は。

木下危機管理課長 要支援

者に対しては優先して室内に避難していただく。1階の出入り口付近や医務室、トイレにも近く、日当たりや換気がよいなど配慮した専用の福祉スペースを設ける。介護用品は順次備蓄していく。

再質問 災害による、危険箇所、迂回路は把握しているのか。

木下危機管理課長 防災研

修で一部の防災組織が避難所までの経路で危険空き家、工作物などの倒壊を検証し、避難経路を最低2か所考えている。

医療費控除の特例は

自主服薬推進のための医療費控除の特例／税務課長

問 今年から新しい医療費

控除制度「セルフメディケーション」がスタートした。WHO定義によると、自身自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることというのだが、スイッチOTC医薬品の購入費用について所得控

除し、膨れ上がった医療費

を少しでも抑制していくための特例だと理解している。制度の仕組みとその目的、どのような医薬品が対象で何か表示はあるのか。また、現行の制度と新たな特例制度との関係は。

笠井税務課長

この制度は適切な健康管理の下で、医療用医薬品からの代替を進める観点から、健康の維持増進および疾病の予防のための一定の取組みを行う個人に対する所得税、個人住民税の医療費控除の特例として新たに創設された。国

が指定した約1600品目

の購入経費が対象で、一部には識別マークやレシートへの表示があると聞いている。この特例を受けると、従来の医療費控除の適用は受けることができない。

スイッチOTCとは…処方箋なしでドラッグストアや薬局で直接購入できる医薬品のこと



井上 弘治 議員

校務支援員の継続は

成果と費用対効果を検証する／学校教育課長

問 宇多津町は学校事務職員配置支援事業のモデル校となっている。県の支援は2年限り。その後、市町には国から一定の地方財政措置がなされ市町自らの経費負担により、積極的に地域内の校務支援員を配置する

事を期待している。

今後本町独自の校務支援員に相当する職員を配置するべきと考えるが。

和田学校教育課長

香川県

教育委員会のモデル校として中学校に校務支援員を配

置している。業務として公文書の受付、アンケート入力、分析業務、備品台帳の電子化業務、電話対応等である。また印刷物、配布物の仕分けなどを行い教員全体の業務負担減につながった。その結果、教員が生徒に関わる時間が増加できた。この事業終了後についても、制度の趣旨から継続したいところではある。もう1年成果を踏まえ、費用対効果を再検証し検討する。

細川・松平家を取り組んだ漁業奨励を現代に

国の補助制度が使えるかを研究・調査する／地域整備課長

問 本町のまちづくりの根幹は細川家、松平家と三河地方の武士政治の影響を多分に受けた。三河武士のまちづくりは商業奨励。中でも魚河岸、魚市がにぎわうと歴史から知っていた。

の漁獲を調査している情報をご存知か。また、水産業の6次産業化や特産物、にぎわいづくりに関してたずねる。

松井地域整備課長

最近、

漁協関係者から「関東からバイヤーが来ており、水産

加工場を考えている」と町に相談があった。現在の状況は、国の補助を利用してということであり、国の補助制度の研究・調査が必要。このあたりの資料が出てくれば、国や県などと協議ができる。

先頃から関東の水産業関連のバイヤーが本町の漁業



西本 祐子 議員

ワンストップサービスの導入を

宇多津町に適した住民サービスの向上を考えている／総務課長

問 いよいよゴールデンウィーク明けには、庁舎耐震改修が終了する。町民にはこの間、ご不便をおかけした。ぜひ、新庁舎では住民が迷わないよう、ワンストップサービスのよう担当者が受付に来てくれるようなサービスを取り入れてほしい。宇多津町ではどのようなサービスを考えているのか。

山下総務課長 住民サービスの向上のために
1. わかりやすい案内表示
2. 快適な窓口の環境
3. わかりやすい手続きの3点を考えている。
まず、各課に低いカウンターを設置し高齢者などが座って手続きや相談ができるようにし、新たに授乳室やキッズコーナーも設ける。本館1階には総合案内係を

終日配置し、証明書の発行を簡素化するなど「証明ワンストップ」を考えている。

再質問 新しくなっても役場は3か所に分かれるのでよりワンストップに近い形に、また職員には接遇の研修をしてはどうか。

山下総務課長 なるべく担当者と呼ぶようにし、どうしてもその課に行っていない場合はきちんとご案内する。接遇の研修は定期的に必要なと感じている。

ワンストップサービスとは：住民が総合窓口に行けば担当者が出てきてくれ、さまざまな行政サービスが1か所で受けられる。

新婚世帯家賃補助制度、その後は

税の公平性から慎重な検討が必要／税務課長

問 新婚世帯家賃補助制度については大変好評で、町長が住民ニーズをよく把握しておられると思う。しかし、全国的には固定資産税の減免などをして人口増を目指す自治体が多い。新婚世帯家賃補助制度を利用して宇多津町に住まれた方が家を建てる時になつてほか

のところに行つてしまわないためにも、新築住宅の固定資産税の減免はできないか。

笠井税務課長 全国的には、定住のための支援として税を軽減する方法と奨励金・助成金を交付する方法が混在している。仮に税の軽減

措置をする時には新たに条例の制定が必要になるが、税の公平性から考えても難しい。奨励金や助成金との比較、効果などについて慎重な検討が必要。

再質問 今までにどれくらいの利用があつたのか。

浅野まちづくり課長 平成27度からの事業で、現在100世帯ほどが活用されている。28年度からは県外からの移住に県からの上乗せ補助があり、そちらは3世帯が利用している。



柴村 賢三 議員

大災害時の福祉避難所の対応策は

二次的避難所として福祉避難所を開設する／危機管理課長

問 東日本大震災から6年、

昨年4月の熊本地方では2度にわたる地震が発生し、死傷者、家屋の倒壊、長期避難生活による問題点などが指摘されており、過去の震災の教訓が生かされているのか疑問視されている。

大規模な自然災害が発生した場合、一般の避難所に収容できなく支援が必要な障害者、高齢者など収容する福祉避難所の確保が全国的にも不十分である。

宇多津町では保健センター12階と民間施設2か所を指定緊急避難場所にして、収容定員50名では対応困難である。

いつ、熊本地震と同じような地震がどこでも起きることを理解し、地域の防災

力を高めると共に福祉避難所対象者の実態把握、避難訓練なども重要である。被害を最少限にいくとめるための対応策は。

木下危機管理課長

災害の

発生などがある場合は福祉避難所の施設管理者に開設を要請し、福祉避難所が二次的避難所として扱われる。開設期間は災害発生日から最大限7日以内と定められており必要な場合には協議して延長することができる。福祉避難所対象者の把握は毎年民生委員と自治会長が名簿確認会で意見交換して実態把握している。

再質問

要支援対象者の研

修・避難訓練などの計画は。また、近隣施設との連携を図って協定を締結しておき、本町で収容困難になった場合に協力体制を整えておく必要があるが。

木下危機管理課長

避難訓

練は難しいとは思っているので、まずは研修などで啓発しながら出来ることから実施していく。また、県や関係機関とも連携しながら考えていきたい。



防災訓練での車いす体験のようす



宮本 隆 議員

人口増加の南部地域に公園新設を

基本的には用地があるところに公園を設置する／地域整備課長

問 みなさんご承知のとおり南部地域には、宅地分譲地や戸建住宅・集合住宅などが多く販売や建設されており、これからも住居地域が拡大していくと思われる。若い世帯の人口が増加していることにともない、子どもも増えているのが現状である。宇多津町のホームページの公園案内には22か所の公園があるが、大門・田町から南部地域には1か所だけである。町内全体を見てもあまりにも、偏って公園が設置されているのではないか。子どもが増えている南部地域に、安心して安全に子どもが遊べる公園が必要だと思う。南部地域に公園の新設を再度お願いしたいが、どのようなお考えか。

松井地域整備課長 町内の公園の内、都市公園に位置付けされている公園は19か所ある。そのうち、大橋地区の6か所の公園は民間開発により、開発許可要件の中で民間が設置し、その後町へ移管された公園である。新都市の臨海公園、中央公園、1号公園から6号公園は、区画整備事業により設置、平山公園は国有地を、網の浦万葉公園は町営住宅跡地を活用し設置された公園である。基本的には用地があつたところに公園を設置してきたので、位置の偏りができていると考えている。

再質問 小学校は、放課後開放しているのか。

藤原教育次長 北小学校は、学校の許可を受けて使用し、宇多津小学校は子どもが来ればそのまま使用させている。

再質問 以前公共の更地を利用し公園の設置を検討したいとの答弁があつたが、いい場所なのでこの用地の今後の予定は。

松井地域整備課長 相手がいることなので、対応を考えたがいし、早急に検討すると言いつながら検討できていなかった。まず、何らかの受け皿を確保し考えていきたい。



住宅取り壊し後の土地を利用した公園

チェックしました



政務活動費はこうに使われています

政務活動費とは・・・地方議員が調査研究などの活動に必要な経費として使えるものです。研修やセミナーの参加費・交通費・宿泊費のほか書籍代などが認められています。宇多津町議会では一人あたり年間15万円までです。仮払いはなく、すべて領収書を添付する清算払いにより実費を支払っています。

(平成28年度分)

議員氏名 総 額	内 容 (活動月・場所)	精算額
港 一紫 3万 805円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口)	30,805円
大黒 一也 5万6,585円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・市町村議会議員特別セミナー (11月・滋賀)	30,805円 25,780円
井上 弘治 9万3,505円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・産学官交流研究会 (9月・福岡) ・グリーンイノベーションセミナー (2月・神奈川)	30,805円 28,040円 34,660円
西本 祐子 14万 335円	・日本自治創造学会 研究大会 (5月・東京) ・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・地方議会研究所・広報セミナー (2月・京都) ・書籍「よくわかる社会生活六法」	54,730円 30,805円 43,800円 11,000円
濱中 保夫 9万8,645円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・地方議員研究会主催研修 (11月・東京)	30,805円 67,840円
柴村 賢三 3万 805円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口)	30,805円
宮本 隆 13万3,749円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・地方議会総合研究所セミナー (7月・京都) ・市町村議会議員特別セミナー (11月・滋賀) ・議員職員のための政策立案 (1月・京都)	30,805円 43,364円 25,780円 33,800円
大松 喜次郎 12万7,415円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・地方議会研究フォーラム (7月・東京) ・市町村議会議員特別セミナー (11月・滋賀)	30,805円 71,130円 25,480円
青木 義勝 3万 805円	・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口)	30,805円
藍川 佳津樹 14万9,520円	・日本自治創造学会 研究大会 (5月・東京) ・コンパクトタウン議会サミット (5月・山口) ・市町村議会議員特別セミナー (11月・滋賀) ・書籍「地方自治自立へのシナリオ」ほか	63,240円 30,805円 25,780円 29,695円

いよいよ、開始

電動レンタサイクルの設置

宇多津町では、前年度の予算で電動レンタサイクルの設置を掲げていました。これは、町内の観光施設などを訪れる観光客の利便性と回遊性の向上を図る目的でした。しかし、前年度中に貸し出しができなかった理由の一つには、設置場所の選定に苦慮したことが挙げられます。駅を含む駅周辺と古街エリアに設置することを決めた後、関係者と協議を進めていました。レンタサイクル事業という新規事業を実施するには、設置場所、受付体制、導入後のメンテナンス、貸出時間、料金、保険などさまざまな項目を決めていく必要がありました。

最終的には、駅前のホテルと「古街の家」で実施されることになり、貸し出しや管理も請け負ってくれました。また、自転車のメンテナンスについては、それぞれ近くの自転車販売店2店舗に委託することになり、多くの関係者の協力により実現されました。

いよいよ4月1日から運用を開始しています。駅前の5台は赤色、「古街の家」の5台は青色です。貸し出し時間は午前7時～午後7時、料金は一日700円で申請時に免許証などの身分証明書の提示が必要となります。たくさんの観光客が利用されることを期待しています。



ホテルサンルート瀬戸大橋1階に置かれたレンタサイクル

5月8日、庁舎本館がリニューアル・オープン

一足お先に、庁舎本館を見に行きました。まず、中に入って驚いたのは「明るい」こと。壁を白くしてLEDライトにするだけでこんなに明るくなるなんて驚きです。キッズコーナーや低いカウンターが設置されるので、より開放感のある、親しみやすい印象に変わること間違いなしです。もちろん『トグル』と呼ばれる筋交いがあちこちに入れられているのが見えますが、それこそがむしろ「安心・安全」の証なのです。



明るくなったロビー



トイレ前の『トグル』



キッズコーナー

地域社会とともに歩むYKK AP

YKK AP 四国製造所は昭和47年(1972年)、宇多津町吉田に四国で初めてYKK(現YKK AP)のアルミ建材工場として建設されました。YKKグループの企業活動には、創業者 吉田忠雄氏の「他人の利益を図らずして自らの繁栄はない」という『善の巡環』の精神が貫かれています。当時、富山県からも多くの社員が転任しましたが「骨を埋める覚悟で行け。」と言われたそうで、地元の祭りやイベントにも積極的に参加し、それは現在も受け継がれています。また、当時は町内に社宅も建設され、たくさん子どもたちとその家族は地域になくてはならない存在になりました。

本業を通じた地域社会貢献はもちろん、次世代教育支援や地域の活性化、国際交流のバックアップなど、さまざまな活動にも積極的に取り組んでいます。

人の心にも花を咲かせたい

宇多津町にある福祉施設をはじめ県内5か所の施設に、毎年花の苗木500鉢を地域貢献と友好の輪を結ぶために届けています。「どんな環境にも負けず、大きくすくすくと育ってほしい」との願いを込めて、職員や施設の方々と一緒に苗木をプランターへ植え替える作業も行います。プランターの花が満開になることを願って植えるのはとても楽しいひとときです。また、町内の公園などの清掃や宇多津駅北側の花壇作りのほか「歩天」などのイベントでは育てた花の苗木を来場者に配り、喜ばれています。



町内の公園の清掃



イベントの来場者に苗木を無料配布



福祉施設に苗木をプレゼント

議会報告会のお知らせ

今年度の議会報告会は6月の開催を予定しています。

町の広報、ホームページ、フェイスブックなどでご確認ください。

YKK AP四国製造所

窓・住宅用品、ドア商品、アルミ型材製品などを生産する工場です。関西・中国・四国で唯一のアルミ型材一貫生産工場でもあり、広く高品質な製品を供給しています。

～エコな住宅を応援します!～

現在、国がその費用の一部について支援する補助制度があります。良質な既存住宅の購入、住宅のエコリフォーム、エコ住宅への建替えですが、補助を受けるためには要件があります。

詳しくは「住宅ストック循環支援事業事務局HP」

始まったでえ〜！防災ママカフェ

子育て世帯が多い宇多津町ですが、小さいお子さんのいる家庭は地域の防災訓練などにはなかなか参加できません。そこで、防災に少し縁遠いママ向けの「防災ママカフェ」が、県内で初めて町の主催で開催されました。講師は千葉県で「防災ママカフェ」を主宰する『かもん まゆ』さん。かもんさんは3人のお子さんの母親でもあり、東北大震災の後、ママたちの支援を通していろんな声を聴き、全国各地で講演を続けておられます。その中で、ママや子どもたちに、日ごろからの準備や生き延びるためのヒントを伝えています。講演の後には、缶詰のパンや火を使わないで調理したピラフなどの試食があり、子どもたちも美味しそうに食べていました。

- 1 避難する時は途中で引き返さないこと。
- 2 非常食は必ず事前に子どもに試食させておくこと。
- 3 避難所ではオムツやミルクは足りないので、準備しておくこと。
- 4 簡易トイレはいざと言う時のため、子どもに体験させておくこと。



「防災ママカフェ」主催の
「かもん まゆ」さん



非常食のパンを美味しそうに食べる子どもたち



かもんまゆさんの話を聞く

「議会だより」モニター募集

年4回の「議会だより」の感想やアンケートに郵送でお答えいただくほか、年1、2回程度の座談会に出席いただける町内在住の方なら、年齢・性別は問いません。ぜひ、みなさまのご意見をお聞かせください。

(薄謝進呈)

お申し込みは **49-8014** (議会事務局)

ファックス番号**49-8017**、メールは gikai@town.utazu.kagawa.jp

住所・氏名・年代・性別をご記入ください。

(応募者多数の場合は、地域、年齢、性別を考慮することがあります)

申し込み期間・・・平成29年5月8日～5月31日

モニター期間・・・平成29年8月1日～平成30年7月31日

恒例の「子ども議会」は2月13日に開催され、庁舎耐震改修工事中のため保健センターの仮議場を使用しました。日頃から催しで使っている場所だったこともあり、いつものような緊張感は感じられませんでした。それでも、各校とも自分たちに関係する身近な問題をパワーポイントやグラフを使うなど工夫をこらして質問をしていました。ほとんどの子ども議員は、練習通りに上手くできたようで、終わると笑みがこぼれていました。



①質問内容 ②感想

写真を使って説明する子どもたち

《宇多津小学校》

- ①町内に住む外国人が増えている。「外国人に優しいまちづくり」のために、祭りやおひなさんなどの文化を知ってもらう交流の場をつくってはどうか。
- ②・政治に参加できてよかった。
 - ・他の学校の意見を聞けて面白かった。
 - ・こんなにすごいことに参加できていることにビックリした。
 - ・よい体験ができたし、役場で働いている人のすごさも分かった。



《宇多津北小学校》

- ①付近に公園が多いが「あらゆる世代の人が集まる公園」にするために、トイレをきれいに明るくし、ごみ箱やその公園ならではの遊具の設置をしてほしい。
- ②・実際の議会のように、貴重な体験ができた。
 - ・思いを伝えられたので、これからが楽しみだ。
 - ・議会の大切さがよく分かった。

《宇多津中学校》

- ①本校の通学時の交通事故が増えている。交通安全表示を増やし、新たな標識と意識を高める掲示板の設置やトリックアートなどを活用してはどうか。
- ②・役場の人々が真剣に答えてくれたのでうれしかった。
 - ・問題を見つけて解決方法までも探せるようにしたい。
 - ・分かりやすい答弁で、解決できる日が目に見えた気分になった。
 - ・いろいろな意見が聞けてよかった。

宇多津町に住む子どもを中心に4才～小学6年生46名（2017.3/1 現在）が、毎週火曜日または木曜日に宇多津オープンカルチャークラブで練習しています。レッスンは週に1回ですが、子どもたちは家でも毎日練習しているそうです。また、歩天うたづ、うたぶアロハナイト、うたづ秋の大収穫祭、宇多津町文化祭、海ホタルクリスマスイベントなど四季折々の地域のイベントステージでも活躍しています。

昨年12月にはユーブラザうたづで「KIDS DANCE PARTY」を開催し、「宇多津町」をテーマにしたメッセージリレーやダンスを通じて町の魅力を発信しました。



2月のミニ芸能祭でも華麗なダンスを披露



ユーブラザうたづでの「KIDS DANCE PARTY」ではうーみんとゆーみんも参加しました

始めたきっかけは？

- ・ダンスを見て友だちに誘われて（3人）
- ・ダンスを見て（9人）

いつから始めたの？

- ・幼児期（4人）
- ・1、2年（4人）
- ・3、4年（3人）



木曜日クラスの3～6年生

応援しようでえー！
うたづっふ
オッ☆ペンキッス



練習でも衣装を着けて踊ると気が引き締まるのだとか



指導：高橋 康子さん
キッズダンス講座
インストラクター

「ダンスを通して子どもたちの純粋な心と健全な体を育てること」を目的に指導しています。音を聞く力、振りを覚える力、表現すること、人と協力して作り上げることなどダンスを通じてたくさんのことを学べます。柔軟性を高めるためには日々の少しずつの努力が必要で、子どもたちは日々自分の体で変化を感じながら自由自在にコントロールできるようになっていきます。

「体が変わると心が変わる。心が変わると自分が変わる。」
ダンスを通じて自然な笑顔の子どもたちの輪が広がるといいなと思っています。

元 気 な な か ま ぐ る ー プ 紹 介

宇多津町食生活改善推進協議会

私たちは『ヘルスメイト』『食改さん』の愛称で呼ばれている団体で、正式には『宇多津町食生活改善推進協議会』という名称です。「私たちの健康は、私達の手で」をスローガンに、食を通じた健康づくりのボランティアとしてバランスのとれた食生活の定着を目的に活動しています。全国1411の自治体で約17万人の会員が活動し、宇多津町では平成28年度現在48名が活動しています。

毎年11月23日の『健康まつり』では、適塩な味噌汁の試飲や理想的な朝食の展示、一日に必要な野菜量の計測などのコーナーを設けています。夏休みには小学生や未就園児の親子を対象に『親子料理教室』を行います。幼児期からの食育にも力を入れています。親子で楽しく作業ができるように子どもでもできるメニューを準備し、ピーラーや包丁などを使い、気をつけながら調理します。「ワクワクして楽しかった」と毎年参加してくれる親子もいるほどです。そのほか75歳以上の人を対象にした『ふれあい交流会』も高齢者に大変喜ばれています。平成27年には今までの活動を認められ、厚生労働大臣の団体表彰を受けることができ、より一層身が引き締まる思いです。一般の方を対象に『いきいき栄養教室』を実施していますので、ぜひ参加してみてください。



お父さんも手際よく…。男性料理教室にて



親子料理教室で包丁を使う子どもたち

みなさんの声

「交通安全指導員」



交通安全指導員
玉井 真之さん

入学式から少し時間も過ぎましたが、新入生のみなさんは学校には慣れたでしょうか。私たち交通安全指導員6名は町長より任命され、毎月数回2名1組で町内7か所に立って交通安全指導をしています。毎月1回定例会を開き、その月の立哨（交通当番）予定や重点項目、交通安全についての話し合いを行っています。また、年に数回の町主催の交通安全キャンペーンに参加するほか、年度末には町内の幼稚園や保育所に出向き、交通安全教室を行っています。指導員一同、町内のみなさんと子どもたちの登下校時の交通安全を願っています。



交通安全指導員
小川 洋子さん

8時の通学時に安全指導を行っています。皆さんもご存知のように香川県は全国ワースト1クラスの交通事故の多い県です。まず、「信号を守らない」「車両距離が短い」「方向指示を出さないか、出すのが遅い」「ながら運転」などなど気づいたことを上げれば、さきがありませぬ。宇多津では特に自転車のマナーも悪いと思います。

自分の命を守るためにも一人一人が常に交通ルールを守ってほしいです。

交通安全指導員として早や二十数年。就学前の園児の交通安全教室や春秋の交通安全週間に参加し、毎月シフトに沿って午前7時～

あとがき

今回は「みなさんの声」で交通安全指導員さんに寄稿いただきました。写真撮るために早起きをして約束の時間より早めに着いたのですが、すでにお二人とも来られていて笑顔で迎えてくださいました。子どもたちの姿が見えだすと、体を張って横断させます。ピーク時には歩道からあふれる子どもたちを並ばせるのにもひと苦労。にこやかに挨拶をしながら、命を守ってくださる姿に頭が下がる思いでした。

西本 祐子

議会広報特別委員会

委員長 西本 祐子
副委員長 濱中 保夫
委員 港 一紫
委員 大黒 一也
委員 井上 弘治
発行責任者
議長 大松喜次郎